

**ファミリーサポートに関する
アンケート結果報告書
(援助者編)**

平成 30 年 8 月

目 次

調査について

1. 調査の概要	4
2. 調査結果の概要	5

調査結果

3. 世帯の状況

問1 住居区	8
問2 回答者の年齢	8

4. ファミリーサポート事業

問3 ファミリーサポートセンターの認知度	8
問4 援助の有無	9
問5 援助内容	9
問6 援助希望(曜日)	9
問7 援助希望(時間)	10
問8 援助できない理由	10
問9 利用料金	11
問10 事業に必要な条件	11
問11 その他自由意見	12
ファミリーサポート事業開始する場合、提供会員として登録できる方	18

資料編

1. ファミリーサポートに関するアンケート調査集計結果	21
2. ファミリーサポートに関するアンケート調査票	25

調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

ファミリーサポートの援助者の現状及び移行等を把握し、ファミリーサポート事業設置の有無を検討するための基礎資料とするため、調査を実施します。

(2) 調査について

① 調査対象 合計286人

- ・『高齢者の社会参加に関する意識調査』(平成29年7月高齢者支援課実施)で、「子ども・子育てに関する支援活動」について「すでに参加している」、「関心がある」と回答した方 225人(調査基準日:平成30年4月1日)※なお、町から連絡をすることについては、調査の中で同意済み
- ・子育てに関する団体(子育てネットワーク「くるっくー」) 16人
- ・鳩山町民生委員・児童委員協議会委員 35人
- ・鳩山町子ども・子育て会議及び鳩山町次世代育成支援対策地域協議会委員 10人
※重複する方には、アンケートは1回のみ

② 調査方法 郵送または手渡しによる配布及び回収

(3) 調査期間

平成30年5月7日(月)～5月31日(木)

(4) 回収結果

有効回収数190件 回収率66.4%

(5) 報告書を見る際の注意事項

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、少数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ・自由意見については、個人情報に関係する部分等については修正しております。
- ・「あてはまるものすべてに○」の複数回答の設問は、回答合計数は回答者数より多くなっています。

2. 調査結果の概要

(1) ファミリーサポートセンターの周知度

ファミリーサポートセンターに関する質問については、「知らない」が全体の 46.3%と最も多い回答となっています。「知っている(内容まで)」は、全体の 22.6%と低い数値でした。

利用者アンケート(H29.1 実施)では、「知らない」が全体の 56.3%と最も多い回答となっています。「知っている(内容まで)」は、全体の 13.8%と低い数値でした。

(2) ファミリーサポート事業の援助会員について

援助会員に関する質問については、「(援助)できない」が全体の 50.5%と半数以上の回答でした。また、「(援助が)すぐできる」は 1.6%(3 名)、「できる(条件が合えば)」は 9.5%(18 名)をあわせて 21 名の方が条件が合えば援助できるという回答でした。

利用者アンケート(H29.1 実施)では、「(援助)できない」が全体の 50.2%と半数以上の回答でした。また、「(援助が)すぐできる」は 1.3%(6 名)、「できる(条件が合えば)」は 14.6%(67 名)をあわせて 73 名の方が条件が合えば援助できるという回答でした。

ファミリーサポート事業は「利用する方」と「援助する方」の両輪で運営しています。前回の利用者アンケート(H29.1 実施)では、利用の希望をお聞きしました。

結果として、「利用しない」が 57.9%(265 名)、「利用したい」が 41.7%(191 名)でした。なお、「利用したい」と回答いただいた中でも、利用の理由は「緊急時のみ」や「必要な時のみ」、「自分は利用しないが、小さい子達のため」という方もいらっしゃいました。

(3) 援助の内容

援助内容に関する質問については、「保育所・学童への送迎(町内)」が全体の 22.4%と最も多く、次いで「習い事・塾等への送迎(町外含む)」が 19.0%と多くなっています。

利用者アンケート(H29.1 実施)では、「塾等への送迎(町外含む)」が全体の 19.2%と最も多く、ついで「保護者の急用の預かり」が 17.6%と多くなっています。

(4) 援助できない理由

援助できない理由としては、「時間に余裕がないため」が 28.0%と最も多い回答でした。次いで「責任が大きい」が 24.1%と多い回答でした。

利用者アンケート(H29.1 実施)「利用しない理由」については、「支援の必要がない」が、50.8%と最も多い回答でした。次いで「知らない方に預けるのが不安」が、20.3%と多い回答でした。

(5) ファミリーサポートセンターに必要な条件について

必要な条件としては、「信頼できる組織であること」が 37.3%と最も多い回答でした。次いで「事故が起きた場合に補償があること」が 28.9%と多い回答でした。

利用者アンケート(H29.1 実施)では、「信頼できる組織であること」が 36.9%と最も多い回答でした。次いで「援助者の質」が 16.3%、「事故が起きた場合に補償があること」が 14.3%と多い回答でした。

調查結果

3. 世帯の状況

問1 世帯のお住まいの地区について（いずれかに○をつけてください）

「亀井地区」が12.1%、「今宿地区」が24.7%、「ニュータウン地区」が60.5%となっています。また、「その他」については具体的に記入する箇所がなかったため、不明です。

① 亀井地区	23	12.1%
② 今宿地区	47	24.7%
③ ニュータウン地区	115	60.5%
④ その他	5	2.6%
計	190	100.0%

問2 あなたの年齢について（いずれかに○をつけてください）

「60～69歳」が一番高く58.4%となっています。

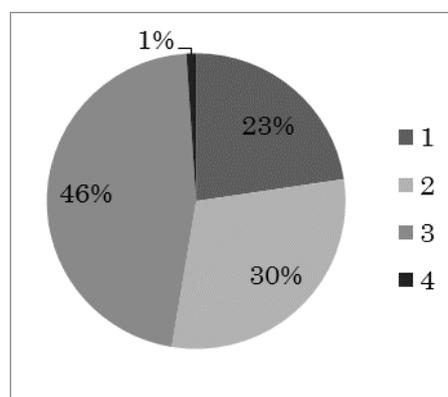
① 20～29歳	0	0.0%
② 30～39歳	3	1.6%
③ 40～49歳	4	2.1%
④ 50～59歳	8	4.2%
⑤ 60～69歳	111	58.4%
⑥ 70歳以上	63	33.2%
⑦ 無回答	1	0.5%
計	190	100.0%

4. ファミリーサポート事業

問3 ファミリーサポートセンターについてご存知ですか（いずれかに○をつけてください）

「知らない」が46.3%と最も多い状況です。

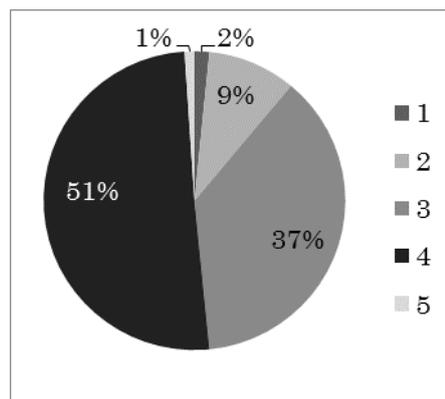
① 知っている（内容まで）	43	22.6%
② 名前だけは知っている	57	30.0%
③ 知らない	88	46.3%
④ 無回答	2	1.1%
計	190	100.0%



問4 育児支援をする援助会員になることはできますか

「できない」が 50.5%と最も多い回答でした。

①	すぐできる	3	1.6%
②	できる(条件が合えば)	18	9.5%
③	今すぐはできない	71	37.4%
④	できない	96	50.5%
⑤	無回答	2	1.1%
計		190	100.0%



問4で「すぐできる」「できる(条件が合えば)」に回答いただいた方への質問

問5 どのような時に援助できますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

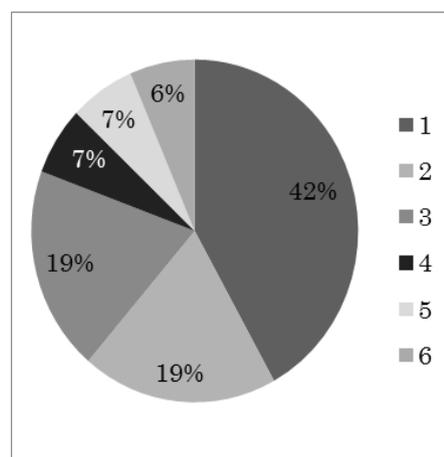
「保育所・学童への送迎(町内)」が 22.4%、「塾への送迎(町外含む)」が 19.2%と多い状況です。次いで、「保護者の外出の際の預かり」「保護者の急用の預かり」が多くなっています。

①	保育所・学童への送迎(町内)	13	22.4%
②	習い事・塾等への送迎(町外含む)	11	19.0%
③	保育時間外、放課後の預かり	7	12.1%
④	保護者の外出の際の預かり	9	15.5%
⑤	保護者の急用の預かり	9	15.5%
⑥	保育所等の急な呼び出しのお迎え、預かり	4	6.9%
⑦	病児・病後児の預かり、受診	2	3.4%
⑧	その他	1	1.7%
⑨	無回答	2	3.4%
計		58	100.0%

問6 援助できる曜日はいつですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「月～金(平日)」が 41.9%と最も多い状況です。

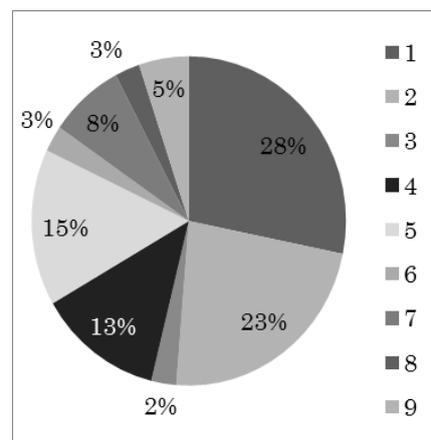
①	月～金(平日)	13	41.9%
②	土曜日	6	19.4%
③	日曜・祝日	6	19.4%
④	まだわからない	2	6.5%
⑤	その他	2	6.5%
⑥	無回答	2	6.5%
計		31	100.0%



問7 援助できる時間帯はいつですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「平日の昼間」が 28.2%と最も多い状況です。次いで、「平日の夕方」が 23.1%です。

①	平日の昼間	11	28.2%
②	平日の夕方	9	23.1%
③	平日の早朝・夜間	1	2.6%
④	土日祝日の昼間	5	12.8%
⑤	土日祝日の夕方	6	15.4%
⑥	土日祝日の早朝・夜間	1	2.6%
⑦	まだわからない	3	7.7%
⑧	その他	1	2.6%
⑨	無回答	2	5.1%
計		39	100.0%

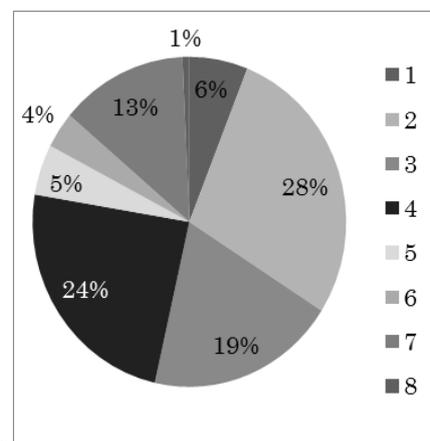


問4で「今すぐはできない」「できない」に回答いただいた方への質問

問8 援助できない理由は何ですか。(いずれかに○をつけてください)※複数回答者有

「時間に余裕がないため」が 28.1%と最も高い状況です。次いで、「責任が大きいため」が 24.1%となっています。

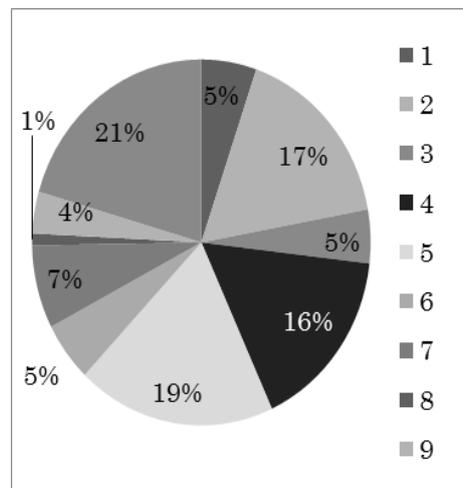
①	子どもに接することに自信がないため	17	6.0%
②	時間に余裕がないため	79	28.0%
③	体力に自信がないため	55	19.5%
④	責任が大きいため	68	24.1%
⑤	家族の理解を得られないため	14	5.0%
⑥	ファミリーサポートセンターのイメージがわかないため	10	3.5%
⑦	その他	37	13.1%
⑧	無回答	2	0.7%
計		282	100.0%



問9 利用料金について1時間あたりいくらが妥当だと思いますか。(いずれかに○をつけてください)

「500円」が34.6%と最も多い状況です。回答者による差はありませんでした。

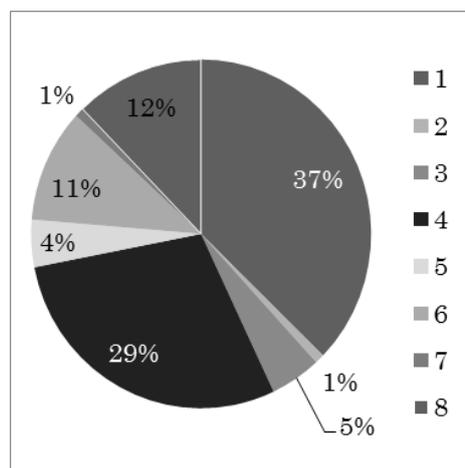
①	500円以下	10	5.3%
②	500円	32	16.8%
③	600円	9	4.7%
④	700円	31	16.3%
⑤	800円	36	18.9%
⑥	900円	10	5.3%
⑦	1,000円以上	14	7.4%
⑧	時間ではなく、日単位が良い	2	1.1%
⑨	その他	7	3.7%
⑩	無回答	39	20.5%
計		190	100.0%



問10 ファミリーサポートセンターに必要な条件は何ですか。(いずれかに○をつけてください)※複数有

「信頼できる組織であること」が37.3%と最も高い状況です。次いで、「事故が起きた場合に補償があること」が28.9%となっています。

①	信頼できる組織であること	85	37.3%
②	利用料が適切であること	2	0.9%
③	近所で利用できること	11	4.8%
④	事故が起きた場合に補償があること	66	28.9%
⑤	プライバシーが守られること	10	4.4%
⑥	援助者の質	24	10.5%
⑦	その他	2	0.9%
⑧	無回答	28	12.3%
計		228	100.0%



問11 ファミリーサポートについて、自由意見をご記入ください

NO	意見
1	<p>・潜在的なニーズを掘り起こし、一歩ずつでも対応できれば、ファミリーサポートの輪が広がっていくと思う。</p> <p>・できることから始め、無理せず進めていくことが長続きのコツだと思う。</p> <p>・今は仕事をもっているので数年後ならお役に立てると考える。同様の人的資源や志をもった方がいらっしやると感じる。</p>
2	<p>孫たちを見ていて感じる事。</p> <p>その子その子で個性があり、又年齢で対応(言葉がけや話し(言葉)等)があります。また、その家庭のくらし方、育児方針等、預かる側も注意する事が多い仕事です。人見知りする前の乳児は預かりやすいかも。寝返りしてから動き出して2才位までが大変です。言葉で会話が出来るとなると少し楽になります。そして反抗期がまたやっかいになります。</p> <p>利用料金、どの年齢でも同じなのですね。</p>
3	<p>私には6人の孫がおりまして、両親は仕事しておりますので、必然的に子育てに関与して年月が経ております。</p> <p>両親が安心して働ける環境が子供たちの健全な成長に影響します。どんどん大きくなってゆく孫たちと接すると心も体も若くいられます。栄養士、調理師、夢の話、人間成長に必要な事にたずさわり我が子の子育ての時より経験から余裕をもって接していくことができ孫たちにはゆったりとした向き合いができ、大変ありがたいと思います。</p> <p>孫が手がかからなくなる時は私自身も年をとってしまうので、夫婦での介護か目前にきておりますので、子供が大好きですので、サポーターになれたらと思います。残念です。ファミリーサポートをされ、多くの方が幸せに暮らせると良いと思います。</p>
4	<p>実際にファミリーサポートをしている方(他市町村でも)のお話を聴くことは大切と思います。</p> <p>たのむファミリーとサポートする方の相性もあるので、面接(お互いの)も丁寧にする必要があるかと思います。</p>
5	<p>お役に立てなくてすみません。</p> <p>子育てが終り、夫婦の静かな生活が長く続くと「日常の変化」には疲れるようです。町に若い人達が多くなることを望む一方でこんな消極的な私がいって…。</p> <p>子供の泣き声、一ときもじっとしていない動きとかとても相手になれません。</p>
6	<p>とても良い取り組みと思います。</p> <p>私ももう少し若かったらと思います。今は自分の健康維持が精いっぱいなので残念です。</p>
7	<p>現代において必要なシステムである。</p> <p>利用料金は預ける側に責任意識が持てる設定が大事だと思う(安すぎない)。</p>
8	<p>とても良い試みだと思います。</p> <p>にぎやかな声があちこちから聞こえてくると良いですね。</p>

9	<p>①組織の明確な内容と運営方法が●●(判読不能)で利用されやすいこと。 ②子供の管理、責任と保障等を明確にすること。 ③サポーターの注意事項を明確にして、できる内容を具体的とフォロー対応を明確にすること。 ④利用者は自分で出来るだけ対応することを第一にして、地域に依頼する場合の心の重さや感謝する気持ちを持たせること。 (注)利用者(子の親)の対応内容を明確にする。あくまでも自己責任で代金を支払えば、良いという事ではなく、支援に理解と感謝を理解できる人達への対応のような支援でないと発展しない。</p>
10	<p>子育て時、近所の皆さんのお世話になった経験からファミリーサポート事業があることは良いことと思います。私も、もう少し若かったら手を挙げていたかも知れませんが大切な命を預かる自信がありません。 2~3人でチームを組んでサポートできるのであれば少し、ハードルが下がるのですが。</p>
11	<p>娘が学童保育所に勤めています。 とても体力がいるとのこと。元気な子供さんを援助してケガでもさせたら責任がとれないと思います。 私がもう少し年令が若かったら協力できたかも知れませんが古希を迎えた今となっては…。 大変申し訳ありません。</p>
12	<p>子育て援助活動は、仕事をしている人にとってはとても良い制度だと思います。私の子育て時代にも、このようなサポートがあったら心強かったと思います。時代の流れでしょうか。 子どもを預かる以上、責任がとても重いものですので何か問題が起こった時に、仲介してくれる人のサポートがとても重要になってくると思います。 依頼者と提供者が良い信頼関係になれば人の輪も広がり、地域の結びつきも強くなるのではと思います。</p>
13	<p>お手伝いはできませんが(申し訳ありません) ・手続きが面倒だと大変ですので、簡単にできるといいと思います。 ・緊急なとき、すぐ、預けることができること。親にとって大事だし、大助かりだと思います。</p>
14	<p>私、免許もない人なので、ファミリーサポートがあれば助かる方々がいるんだろうと思います。</p>
15	<p>掃除、調理と違い、相手は人間なので責任が重く、協力してあげたい気持ちと、無理だなあと思う気持ちが交錯しています。</p>
16	<p>新潟女児殺害事件のニュースを見るたびに心が痛みます。 高齢になっても、まだ出来ることがあれば地域に役に立ちたいと思うのですが…。 昔と違って、今の子育て世代の難しさは、理解できるのですが…。(孫三人あり) 今は「こども110番の家」で見守りをしています。</p>

17	<p>長い間、鳩山町にもファミリーサポートセンターがあればいいのにと感じていました。ちょっとした時間の託児や送迎など、頼める方がいなくて困っている方は割りといっているのではないかと思います。</p> <p>子育てしやすい町として宣伝をするなら、ファミサポの実現はぜひともお願いしたいです。</p> <p>提供会員として今、登録できずすみません。いつか協力できる日がきましたら、お手伝いさせていただきたいです。よろしく願い致します。</p>
18	<p>とても良い事業だと思います。</p> <p>私も3人の子供を育てました。それぞれ世帯を持って生活しています。孫も5人います。下の子が小学2年生になり、手が離れて一安心の状態になりました。</p> <p>少しでもお手伝い出来る状態ですが、主人がパーキンソン病になり介護が必要な状態です。介護生活のため、お手伝いが出来ません。申し訳ありません。</p>
19	<p>とても良い組織と思いますが、年齢を考えると協力が出来かねます。5年早くあつたら良かったのにとおもいます。命を預かるのですから。</p>
20	<p>子育てをしながら働いているお母さん、昔ならおじいちゃん・おばあちゃんを頼り、安心して働くことが出来たのに今は各家族で頼る人も相談する人もいない不安を抱えている人が多いと思います。そんな時、サポートをしてくれる人がいたらどんなに心強いかな…。</p> <p>この制度はとても有意義なものだと思います。世代間の交流もできるし出来れば私もお手伝いをしたいのですが、とても時間がとれません。申し訳ないです。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、子育て、母子父子自立支援員として、ずっと児童福祉に関わって来ました。31年3月に退職を考えています(川越市)。 ・退職後、自分のできることとしてファミリーサポートの仕事を考えていました。 ・31年3月以降お手伝いと言うか需要があればやってみたいと思います。 ・川越市と鳩山町とでは需要の内容が多少違ってくるのではないかと考えています。
22	<p>孫が他県に住んでいます。</p> <p>両親共働きなので時々保育園の迎え等の手伝いに行っています。ファミリーサポートがあると便利だと思いました。時間が合うと私も登録させていただきたいのですが申し訳ありません。</p> <p>お子さんとも関係作りから考えるとむずかしい面もあるのではと思います。</p>
23	<p>とても良い取り組みだと思う。</p> <p>町に若い世代が移住してくれる1つの条件にもなるのではないかなと思う。</p>
24	<p>孫の子育てで忙しい為、時間が出来たら協力したいと思います。</p>
25	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを地域で援助する大切な制度だと思います。隣り近所とのかかわり合いが少なくなっている中で、お互いにできる人が、できることをして助けあい、交流を深めることで、地域の活性化にもつながるのではないのでしょうか。 ・会員登録数(援助を受けたい・援助をしたい共に)を増やすことがこの制度の活性化につながると思います。今後も、あらゆる機会を通して、地道に登録の呼びかけを行い、会員数を増やしていくことが大切ではないのでしょうか。

26	<p>長い間、子どもに接する仕事をしてきました。 働きながら孫の子育ても支援してきました。孫も大きく成長し、大学を卒業、教師になりました。</p> <p>支援学校を卒業された福祉グループホームで支援員として現在働いておりますが、ファミリーサポート援助を行いたいと思っております。</p> <p>人と人の心をつなぎ、子どもに笑顔を与え、与えられる喜びがあります。</p> <p>友人は東松山市で働きながら活動しております。</p> <p>提供会員として登録を希望します。</p>
27	<p>主旨には同意しますが、同町内に孫が二人いる為参加できません。残念です。ほかのことに参加したいと思えます。</p>
28	<p>問 10(ファミリーサポートセンターに必要な条件はな何ですか)で1つの選択の為、①信頼できる組織であることにしたが、④事故等が起きた場合に補償があることも絶対必要だと思えます。</p>
29	<p>核家族が多い中で、若い世代の方々が安心して子供を産み育てていく手助けに少しでも貢献できればと思えます。</p>
30	<p>働くお母さんにとって、子育てと仕事の両立は大変です。</p> <p>孫の塾通い、送迎など、日・祝日等の預かり、現在行っています。</p> <p>身近に祖父母がいらっしゃらない方にとって、このようなサポートは心強い味方ですね。安い利用料で安全にサポートしていただけるよう、鳩山町にも頑張っていたいただきたいです。</p>
31	<p>保護者が買い物、用事等(1時間～2時間)には平日9～5時の間はふくしプラザで無料で預かりをすることができればよい。</p> <p>老人にとっても子供を見るのは、いろいろな意味でよい事だと思う。</p> <p>サポートする人はボランティアの方を募る。</p>
32	<p>大変良い制度だと思えます。</p> <p>小生は現役を離れても仕事をしておりますし、妻も社協含め仕事をして忙しい毎日を送っています。従って会員にはなれませんが、町には自由で気楽な時間を持っている高齢者が多くいると思えます。</p> <p>認知症予防のためにもいい事だと思えますので、こういった方々に強くアピールしてゆかれたらと思えます。</p>
33	<p>お手伝いしたい気持はあるんです。</p> <p>でも年令が年令だし…車の運転等は他人を乗せて事故を起こしたりと、心配事が多くあります。申し訳ありません。</p>
34	<p>地域のファミリーサポートは急な依頼等の時、なかなか人材確保が難しかったりします。そんな時こそ役に立てたらと思えます。</p>
35	<p>今は時間に余裕がなくお手伝いできませんが、何年か先には可能だと思えます。ぜひファミリーサポートセンターを立ち上げてください。</p>
36	<p>とてもいい活動だと思えます。自分に出来るのか考えてみたいです。</p>
37	<p>仕事をやめたら協力できます。今はごめんなさい。</p>
38	<p>助け合いが必要な時代だと思えます。</p> <p>核家族で働くお母さんも多い中、ご近所からサポートできていけば良いと思えます。</p>

39	今は年寄(89才)が居るため、自由なようで自由ではない状況です。お子さんを預かる場所は自宅(預かる人の自宅?)でしょうから難しいと思います。サポートする内容や時間が合う方がサポートできるのでしょうかが定期的には大変かと…お手伝いしたい気持はありますが…
40	事故があった場合のサポート内容について、はっきりしておかないと提供会員になるのを不安に思う人が多いのでは？
41	あまり内容が良くわからない為、どんな事をするのか事前の準備等がぜんぜん理解できなくて会員となる事がむずかしく感じました。
42	協力できればと思いますが年齢を思うと、自信がないです。
43	必要性は良くわかります。 ファミリーサポートの活動は学校のクラス単位で組立てたらいかがでしょうか。 第三者より友達の親であれば安心できると思います。
44	核家族化が進み、お父さんお母さんの子育ての負担が重くなっている時代、ファミリーサポートの役割りはとても重要だと思います。時間ができたら是非協力したいと思います。
45	将来ある子供の育成は、みんなの協力が大切だと考える。この社会を希薄にしたくないですね！
46	内容を深く理解できていない為、アンケートにも記入出来ない所が多い。 ボランティアの一環として考えるならば出来るだけは協力出来ます。 お金をいただくとなると責任も重くなり、年齢・体力等をもっとよく考えないとお受け出来るか心配になります。
47	・私は、世代間の交流が必要な時節と考えます。 核家族化で子育ての負担の増大と高齢者福祉が、行政予算のみで解決できぬテーマとなるのは必然です。子供預かりとしても先生方の雑事が減り教育に専念できる環境ができれば、学力向上、学校生活の質的向上が計れるのではないのでしょうか。 子供サポートされる側(子供)もする側(老人)も共に楽しめる環境、条件でなければ長期的継続はできないでしょう。 ・私は町内体育館で週3日程度卓球を10年やっているが、夕方梅沢体育館利用の小学生を散見します。その子達は正式にルール・フォームの基礎を学んでいないのでラリーが続かぬ状態である。チョット、アドバイスまたはラリー相手をすることで格段に変化し、興味が増すと思われます。 ・まずは、小学4~6年の生徒の放課後に「卓球スクール」を地元クラブとも連携し開催してはどうだろうか。今後の中学、高校へのクラブ員増加、体力増強ともなります。 ・低予算で簡単に実施できることからやってみてはどうでしょう。
48	ファミリーサポートについて初めて知りました。他人同士のサポートは、なかなか難しい面も多々あると思いますが安心して働ける事はお金にはかえられません。私は70才、60才までは常勤で3交替をしながら孫育てに協力してきました。その後は週4日働き孫育てが必要なくなった4年前からはひ孫育てに協力しております(4才と3才)。信頼して育児にサポートして下さる方が大勢いる事を期待して願っております。

49	<p>依頼会員と提供会員が時間やサポートの内容、利用料金等きちんとした約束事が必要と思います。そして、お互いに約束事を守る気持ちで参加してほしいと思います。お互いに慣れてくると時間が守れなくなったり、利用料金や実費料金の支払いが遅れたりすることもあるようです。お互いによく連絡をとりあうことが大切かと思うのですが…。</p> <p>ファミリーサポートによる出会いが、地域のよりよいつながりとなるような組織になるよう希望します。</p>
50	<p>本来、隣近所で助けあえる事が良いのですが！</p>
51	<p>ファミリーサポートが開始される可能性のあること、うれしく思います。この事業は支援者の心理的負担、責任が重いと思います。内容によっては1件の依頼に対して、複数の支援者が対応するような体制を考えてください。</p> <p>また、事故が起きないように、起きた時、どうするのか。支援者への細かく、適切な研修を実施してください。</p>
52	<p>車の運転が出来ません。</p>
53	<p>大変有効な子育て支援事業だと思う。問題はサポート会員の確保とサービスの周知ではないだろうか。町民性としてボランティア意識は高いと思うので実施にあたっては周知に力を入れて欲しい。また、近隣の実施状況で28年のデータで、ときがわ町の35件と少ないこと、毛呂山町は471件に対しサポート会員が19人しかいないのが気になる。ぜひ近隣町の実績と課題について担当者と面会し、話を聞いて頂き、子育て会議や公聴の場で協議しながら丁寧に進めていただきたい。立ち上げも大変だが、一番重要なのは継続していける子育て支援事業となれるかどうかだ。</p>
54	<p>仕事をもつ娘に子供が生まれ、その大変さを見て来ました。</p> <p>何か手伝いたいと思っても1時間半位離れているのでなかなか出来ません。同じような若い人たちの手伝いはしたいと思います。</p> <p>しかし子供さんたちを預かるのは怖いです。自分にも出来るのか不安です。</p> <p>講習を受けるだけで出来ますか。</p>
55	<p>かつて「お互いさま」で成り立っていたご近所の子育てに、行政がファミリーサポート事業などと「互助」を呼びかけなければ、ならない地域福祉の現状に複雑な思いがあります。</p> <p>子育て支援に限らず、新たな事業をはじめるとあっては、制度に人を合わせるのではなく、しっかりとニーズや実態の把握を行ってほしいです。町民全体に、このファミリーサポート事業がどの程度知られているか、また何より町内にこの事業を必要とされているご家庭の実態を町はどのように把握されているのか、こういったことも町民に広く知らせる努力を続けていただきたいと思いました。</p>

ファミリーサポート事業開始する場合、提供会員として登録できるとご回答いただいた方

NO	氏名	住所	保有資格	問4回答
1	女性		運転免許	1(すぐできる)
2	男性		運転免許	1(すぐできる)
3	男性		運転免許	1(すぐできる)
4	男性			2(条件が合えばできる)
5	女性		運転免許	2(条件が合えばできる)
6	女性		運転免許、幼稚園教諭二級	2(条件が合えばできる)
7	女性		運転免許、介護研修二級修了、図書館司書・学校図書館司書教諭、中学・高校国語科教諭	2(条件が合えばできる)
8	女性		運転免許	2(条件が合えばできる)
9	女性		栄養士	2(条件が合えばできる)
10	女性		幼稚園教諭、 埼玉県家庭教育アドバイザー	2(条件が合えばできる)
11	男性		運転免許、教員(中学一級・高校二級:教員経験はなし)	2(条件が合えばできる)
12	男性		パソコンタッチタイピング3級	2(条件が合えばできる)
13	女性		運転免許	2(条件が合えばできる)
14	女性		運転免許	2(条件が合えばできる)
15	女性		運転免許、小・中・高教員免許	2(条件が合えばできる)
16	女性		調理師	2(条件が合えばできる)
17	女性			2(条件が合えばできる)
18	女性		助産師	3(今すぐはできない)
19	男性		運転免許	3(今すぐはできない)
20	男性		運転免許	3(今すぐはできない)
21	女性		運転免許、ホームヘルパー2級、中学国語科教諭	3(今すぐはできない)
22	女性		保育士、社会福祉士	3(今すぐはできない)
23	女性		運転免許	3(今すぐはできない)
24	男性			3(今すぐはできない)
25	女性		運転免許、ホームヘルパー2級、幼稚園教諭、調理師	3(今すぐはできない)
26	女性		保育士	3(今すぐはできない)
27	男性		運転免許	3(今すぐはできない)
28	男性		運転免許	4(できない)

※NO18 以降の方は問4の設問では「今すぐできない」「できない」とのご回答でしたが、登録できる方の欄にはご記入がありました。